

みんながファシリテーター バース アイ ビュー ミーティング

そもそも学級とはどんなものか？

- 一人一人が欠くことのできない大切な存在である。
- 一人一人が多様な考えをもっている。
- 一人一人に長所・短所がある。 ➡ 自分のよさや可能性を認識する。
- 好き嫌いもそれぞれ違う。
- 集団生活の中での様々な活動を通して、社会生活の基礎となる生きる力を育む。

子供にとっての学級とは？

- 楽しい
- 人間性を高める
- 認め合う
- 成長する
- 人と人が学び合う
- 間違ってもいい
- 協力する
- 仲を深めるところ
- 笑顔でいる
- 努力する
- 様々なことを共有
- 助け合う
- けんかする

学級にはそれぞれのちがった楽しさがある。だからおもしろい！

学校生活を通して（持続可能な社会の創り手の育成）

- **人間関係形成**
人との様々な関りを通して共同生活の意義や楽しさを実感。
- **自己実現**
目標に向かって計画→行動→振り返り→改善のプロセスから成長を実感。
- **社会参画**
学級がより良くなるために、自分にできることや楽しさを見出し、積極的に行動することで、学級に対する存在意義や愛着を実感。

学級のバージョンアップ 学級会をしよう！

子供たちが学級の生活上の諸問題を見だし、その解決策を学級のみんなで話し合い、合意形成を図る活動。

今までの学級会から見えてきた課題

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 教師 | 子ども |
| ● 時間がかかる | ● 人の話を最後まで聞かない |
| ● 計画委員会の時間がとれない | ● 時間がかかる |
| ● 発言者がいつも同じ | ● まとめが大変 |
| ● 全体として参加意欲を感じない。 | ● 平等ではない（強い人・弱い人） |
| ● 新しい発想が生まれづらい。 | ● 発言者がいつも同じ |

新しい学級会で目指すもの

- 全ての子どもたちの考えや意見を共有できる環境の構築し、満足度の向上を図る。
- ICTを有効活用した新しいコミュニケーションを構築し、学級会の活性化を図る。
- ICTを活用して、時間短縮を図る。
- ファシリテーター的思考を育成することで、安心して意見が言える環境をつくる。
- 意見の整理・まとめ方において、合意形成を明確にして円滑化を図る。
- 他教科にも応用できる話し合いのスタイルの構築

みんなちがって
みんないい

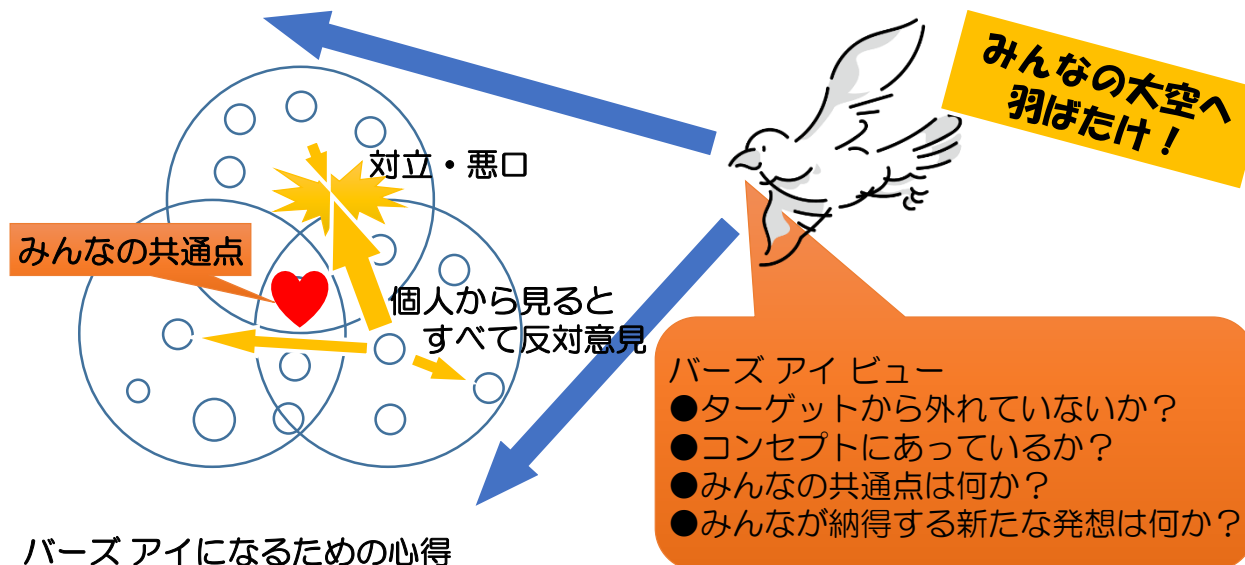
一人一人の
成長です！

子供と教師の
考えが同じ！

学級のために
がんばるぞ！

みんながファシリテーター バース アイ ビュー ミーティングの基本的な考え方と手立て

バースアイ・ビュー（Bird 's-eye view）とは
学級会における視点を自分自身から全体を俯瞰的に見る視点に変化させることで、めあてや目的に合っているか考えやすくする。
また、様々な考えを整理してその共通点を見出すことで新たな発想を生み出す。



バースアイになるための心得

- この学級はあなた自身の学級である。
- 学級はあなた自身が行動しないとよくなる。
- 全て自分事としてとらえ、あなた自身の楽しみを見付ける。

バースアイビュー

- ターゲットから外れていないか？
- コンセプトにあっているか？
- みんなの共通点は何か？
- みんなが納得する新たな発想は何か？

みんながファシリテーターとは

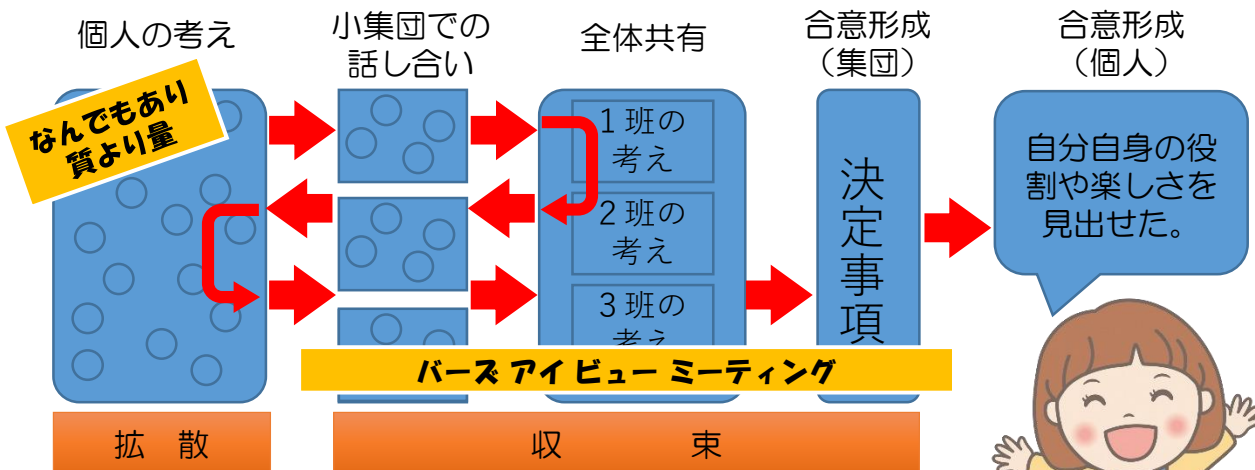
相互理解を促しながら、合意形成を促進する進行役をファシリテーターと言う。
1人1人がファシリテーター的な考えのもと学級会を進行していくことで、学級会の円滑化を図る。

ファシリテーターの役割	コミュニケーションを盛り上げる手立て
①場の雰囲気を作り良くする。	①相手の思いを受け止めながら話を聞き、会話を引き出す。
②コミュニケーションを盛り上げる。	②積極的に話を聴く。
③時間を意識して活動する。	③みんなが発言できるよう呼びかける。
④様々な考えを整理して考える。	④質問をして会話を盛り上げる
⑤参加者全員の合意を得るために、提案理由をもとに共通点を見付ける。	⑤異なる意見がたくさん出ることを歓迎する。
⑥決まったことに対して、話を蒸し返さないようにする。	⑥友達の考えを否定しないで、肯定的に受け止める。
	⑦反応を返す 「いいね」「なるほど」など、うなずく、あいずち話を聞き返す

次の学級会も楽しみ！

学級会の流れと役割

個人・小集団・全体の使い分け、全員参加型の学級会へ
 一人一人から出た様々な考えを小集団で整理して全体で共有。
 小集団活動を軸にするため個人の発言量が増え、学級会の活性化につながる。また、
 一人一人の考えを反映しやすいため、満足度の向上にもつながる。



集団的な合意形成
 話し合いでは、みんなの共通点を見付けたり、様々な考えからみんなが納得するような新しい発想を見出し、合意形成に導く。

個人的合意形成
 決定事項の中に自分の楽しさや役割、今の自分にできることを見出し、参加意欲をもつ。

ICTの活用

1人1台端末でのMicrosoft Teamsの投稿機能を学級会で活用する。

1人1台端末はすごい！！

ICT用メリット	用の場面	活用方法
一人一人の考えをリアルタイムに収集、可視化 「いいね」で、集団がどの意見に共感しているのか、リアルタイムに可視化する。	話し合い 拡散	一人一人の考え投稿。 多くの考えを聴くことができる。
今までよりも多く情報をリアルタイムに更新することが可能。 発言者手な子供も安心して投稿。	話し合い 収束	感じ差をアズ「いいね」をける クラスの共通点を見付けやすくする。
アズ功思いつかない子供は、友達の考え閲覧しながら、自分の考えを構築することができる。 Team内情報保存され、いつでも閲覧が可能。	活動	お知らせ投稿 学級活動に意識を向けることができ、意欲向上につながる。
学級課題やアズィアなど、思いついた時に投稿することができる。	振り返り	個振り返りを募 活動や話し合いでの良かったところや後課題などを共有することができる。
	議題設置	議題をヤネ内に設置 思いついた時に投稿が可能となり、自由閲覧できる。「いいね」を活用優先順位をける。

学級会の目的と目標 スケジュールの明確化

テーマ	何について話し合うのか。議題)
ターゲット	誰のため 行うのか。(相手意識)
コンセプト	テーマの提案理由 課題解決 必要条件設定 (活動場所や時間、その他条件)
ゴール	課題の解決 によって 継続 や 変化 がどのよう 良くなるのか。
スケジュール	話し合うこととタガ スケジュールを する。 全体のスケジュールも明確しておく。

学級会の流れ

1 (全)	始めの曇 全体ファシリテーター紹介 議題の確認 (継続 会前に 前に 投稿し全体 周知 する。)	出し合う
2 (小)	Teamsで レスト議 。自分の考えを投稿する。(考えの拡散) (Teams 投稿※ 時間がない場合は前に 行う)	↓ くらべ合う
3 (個)	よさそうなもの選 んで 欄 に 記入 する。(3 枚 程度) (Teams 「いいね」👍 を する※ 時間がない場合は前に 行う)	
4 (小)	小集団での話し合い (シキ グダツ の活用) グループめ ンバーの欄 を整理して、共通点探 す。 みんなが納得しそうな新しい考えを見出す。 (Teams 「いいね」👍 を 参考 すると共通点が見つかりやすい。)	↓ まとめる
5 (全)	全体で共有 各グループで決まったこと簡 単 (発言時間1分に プゼンする。 各班 で整理し内 容はTeamに 投稿)	
6 (個)	全体の共通点 近い考え選 んで 欄 に 記入 する。(枚) (Teams 「いいね」👍、質問選 ば 理由があば 投稿する)	
7 (小)	小集団での話し合い (シキ グダツ の活用) グループめ ンバーの欄 を整理して、共通点探 す。 みんなが納得しそうな新しい考えを見出す。 (Teams 「いいね」👍 を 参考 すると共通点が見つかりやすい。)	集団的合意形成
8 (全)	全体で共有 各グループで決まったこと簡 単 (発言時間1分に プゼンする。 全体ファシリテーターは仲間と翻 して考えをまとめて提案する。	↓ 個人的合意形成
9 (個)	決まったことの中 自分のやりたいことや、楽しみを見付けて投稿する。 (Teams 投稿)	
10 (全)	決まったことの確認 振り返り (話し合い良かったところ 改善点など) 終末助 言 終わりの曇 (決まっ内 容・振り返り欄 でTeamに 投稿)	

- ア 本時のねらい
 みんながファシリテーターの意識をもち、学級会への参加意欲をもつことができる。
 バーズアイ・ビューの視点を意識して話し合い、展覧会の学級共同作品について決めることができる。
- イ 教師の指導計画

活動内容 (話し合いの順序)	○指導上の留意点	◎目指す児童の姿(観点) 【評価方法】
1 始めの言葉 2 ファシリテーターの紹介 3 議題の確認 4 ターゲット コンセプト ゴール(提案理由) 話し合いの目標 確認	○和やかな雰囲気ではじめられるように、児童と一緒に明るく挨拶をする。 展覧会の学級共同作品を決めよう。(何をどのように作るか) ○ターゲット・コンセプト・ゴールの確認をすることで、バーズアイ・ビューの視点を明確にする。	
ターゲット	全校児童・保護者・地域の方々	
コンセプト	① 展覧会のテーマ Our little universe (私たちの宇宙) ② 材料はSDGsを意識して、身近な物を再利用する。(ペットボトル・段ボール等) ③ 学級全員で取り組めるもの ④ 展示場所はステージ	
提案理由	全校児童、地域の人たちを魅了するような作品をつくり、みんなで達成感を味わいたい。	
出し合う(事前) 5くらべ合う グループミーティング プレゼンタイム イイネタイム (イイネとその理由)	○グループミーティングでは、参加意欲を高められるよう、ファシリテーターの意識を高める。 ○常にバーズアイ・ビューの視点で物事を考えて様々なアイデアを整理できるよう、シンキングダーツを活用する。	(グループミーティング) ◎友達の発信を受けて、自分なりの意見を述べている。 【観察・発言】 ◎自分や友達の気持ちを大切に話し合いに参加している。
6まとめる(グループ) グループミーティング プレゼンタイム イイネタイム (イイネとその理由)	○プレゼンタイムでは、短い言葉で決まったこととその理由について話せるように事前指導する。 ○自治的範囲を超えた場合は助言する。 ○イイネタイムでは、個人としてではなく、バーズアイ・ビューの視点で各班の考えを評価するよう事前指導する。	【観察・発言】 (イイネタイム) ◎各班の発表を聞いて、自分なりの考えをもつ。 【デジタル記録(Teams)】
7まとめる(全体) ファシリテーター ミーティング 振り返り(小集団) (同時進行)	○ファシリテーター(4人)は、全体の考えをコンセプト等と照らし合わせ適切な考えにまとめられるよう事前指導する。 ○自分や友達のことについて振り返り、個人の成長を実感できるようにする。	◎決まったことを受けて、その中に自分の楽しさや役割、心配事を見付けることができる。 【デジタル記録(Teams)】
8決まったことの発表 9イイネタイム 10先生の話 11終わりの言葉	○イイネタイムでは、決まったことの中に自分の楽しみや役割があるのか考えるよう事前指導する。 ○心配事については、改善方法について後日話し合うことを確認する。	

